

学校だより



令和7年度 第4号
東京都立小金井特別支援学校 令和7年6月30日

見通しをもって次にすすむ

副校長 今野 美穂

小学部は、5月31日（土）に小学部運動会、6月に3年生が二小交流、4、5年生が遠足を実施し、中学部は、6月11日（水）～13日（金）に3年生が修学旅行、1、2年生が校外学習に出掛けました。普段の学校生活とは異なる環境での活動でしたが、楽しく活動に参加することができました。各行事を終え、少し不安や苦手さがあっても、活動内容や活動の終わり（ゴール）が分かることで不安が軽減でき、折り合いをつけながら、活動に参加している姿から、改めて「見通しがもてる」ことの大切さを実感しました。休日や夏季休業中には、家庭以外の場所で過ごしたり、いろいろな人と支援を受けながら活動したりすることもあるかと思えます。家庭で取り組める「見通しがもてる」支援の一部を紹介させていただきますので、参考にしていただけたら幸いです。

- ・ 次の活動場所（これから行く活動場所）が分かるように、スマートフォン等に活動場所の写真を入れておき、移動する前に見せる。一緒に活動する人の顔写真提示も、見通しがもちやすい支援です。
- ・ 1週間や1か月のカレンダーに活動場所や内容の写真やイラスト（パンフレットの切り抜きでも可）を貼り、活動日までの少し長い見通しをもたせる〔活動の予測〕。急な予定変更があり延期になっても、カレンダーに貼った写真やイラストを、延期した日に貼り変えることで、いつ、その活動があるのかが分かるので、不安が軽減されやすいです〔活動の保証〕。

小学部運動会

小学部 松本則絵

5月31日（土）に小学部運動会を実施しました。あいにくの天候で体育室での実施となり、放課後デイサービスや就学前施設等の職員の方々には観覧いただけず残念でした。

保護者の皆様には大雨の中御来校いただき体育室にて観覧していただきました。児童数の増加により、保護者の方々の体育室での入れ替えにも時間を要し、競技時間が大幅に遅れてしまったことは次年度への反省に生かしてまいります。

さて、児童たちはグラウンドと体育室とで運動会を実施できるように練習を積み重ねてきました。1年生はアンパンマン体操、2年生はパラバルーン、3年生は玉入れと学年ごとの表現活動を披露しました。高学年になるとボール運びゲーム、棒運びゲーム、大玉ころがしゲームなどで、より競争性や協調性を必要とする競技に挑戦しました。児童にとって、笑顔で終えたり、真剣な表情で取り組んだり、様々な経験を積んで終わった運動会となりました。

災害への心構え

生活指導主任 重久 和仁

台風や地震などによる災害はいつ起こるのか予想することができません。予想できないからこそ、日常から災害に対する対応法を学んだり、実際に実践を繰り返したりすることが大切です。本校では、年間に12回の避難訓練を実施しております。今年度も引き渡し訓練や地震を想定した避難訓練を行っています。避難訓練では、避難経路や身の守り方など基礎・基本を確実にできるように丁寧に行いました。今後は、徐々に2次避難の実施や複数の災害を想定した訓練を行っていく予定です。避難訓練では、小学部の低学年の児童は不安感から泣いてしまったり、他の児童・生徒でも落ち着きがなくなったり、慌ててしまったりすることが多いです。だからこそ、本番に備えた訓練を繰り返し行うことで、災害への心構えをもてるように指導を行っています。

今年度も7月4日（金）に中学部1年生を対象に一泊二日宿泊防災訓練を行います。水消火器による消火訓練や校内宿泊など避難所での生活を体験できるように準備しております。

引き続き、避難訓練や職員の防災研修などを行い、防災体制の構築・改善を進めてまいります。